

総務大臣から池田睦朗さんに感謝状



感謝状を受け取った池田さん（右から2番目）

4月22日、総務省鹿児島行政評価事務所長から池田睦朗さん（財部町南俣）に総務大臣感謝状が贈呈されました。

池田さんは、総務大臣から委嘱を受けて平成15年4月から平成27年3月まで財部町を担当する行政相談委員として尽力。永年にわたり、住民のよき相談相手となって広く行政に対する苦情や意見、要望を聞き、公平で中立な立場から住民の福祉の向上と行政運営の改善に努められ行政相談制度の発展に寄与されました。

家族経営協定を結び経営向上を



協定を結んだ8組の家族の皆さん

3月27日、末吉総合センターで家族経営協定調印式が行われました。この協定は、家族による農業経営について経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件・就業環境について家族で取決め実行していくものです。今回は例年よりも多い8組の家族が調印式に臨みました。各家族の代表者が今後の経営発展について決意の言葉を述べ、市長および議長が励ましの言葉を贈りました。協定を結ばれた8組の今後の活躍を祈念いたします。

インドネシアの高校生が末吉高校生と交流



民族楽器で演奏をするインドネシアの高校生

4月13日、観光センターの計らいでインドネシアの高校生45名が曾於市を訪れ、末吉高校で交流会を行いました。この交流会は昨年12月にも行われ、異文化に触れる良い経験となったため、再び実施されました。

インドネシアの高校生は民族楽器を使って日本の曲を演奏。会場を大いに盛り上げました。その他にも互いの学校紹介、パフォーマンス披露、インドネシアの華麗な民族衣装での舞踊など趣向を凝らした出し物で交流を深めました。

「人権の花」運動開校式



諏訪小学校6年生の皆さん

5月1日、「人権の花」運動の開校式が諏訪小学校で開催されました。この活動はひまわりの栽培をとおりして、優しい心や思いやりの心を育て、人権について学ぶことを目的に行われています。

開校式では標語入り看板等が贈呈され、6年生の和田知樹さんが「大きなひまわりを育てます」とお礼の言葉を述べました。看板標語として同じく6年生の谷川湖来さんの「さかせよう（たにがこ）思いやりの花を 未来のために」が選ばれました。



新規就業者の皆さん

商工業発展のために若い力を

4月13日、市役所で商工業新規就業者支援対策事業認定証交付式が行われました。

この制度は、曾於市の商工業の新規就業者に認定後2年間に渡って毎月5万円から7万円を支援する制度です。

今回は5名の方が認定されました。式では五位塚市長が「商工業の発展のために精一杯取り組んでください」と激励の言葉を述べ、認定者は「自分の目標に向かって尽力します」と力強く述べました。



ボランティアガイドの皆さん

「市観光ボランティアガイドの会」総会

4月24日、市立図書館で「曾於市観光ボランティアガイドの会」の総会が開催されました。

総会の前に観光特産開発センターの吉川益夫よしかわ ますお前所長が、平成26年度まで優秀な観光ガイドとして活躍された個人、団体に認定証を交付しました。

総会の役員改選では高木秀久たかき ひでひささんから吉川益夫さんへの会長改選が了承され、吉川さんが会長に就任されました。曾於市の観光を支えている「市観光ボランティアガイドの会」の益々の活躍を期待しています。



受け入れ家族と横浜デザイン学院の皆さん

横浜からの学生 曾於市に民泊

5月12日から14日にかけて、横浜デザイン学院高等課程の学生26名が民泊型教育旅行を曾於市で行いました。

民泊を受け入れたのは10家族。それぞれ学生を2人から3人受け入れました。体験活動として牛の世話、そば打ち、茶摘み、野菜の収穫、ホタルの観賞など横浜では体験できない活動を学生は経験しました。生徒代表あいさつでは「ホタルや星空の美しさに感動しました。ごはんもとてもおいしかったです。あいがとさげました」と

鹿兒島弁でお礼を述べました。



植え付け方を教わる生徒

末吉高校生 閉校に向けて

4月27日、大隅町月野の畑で末吉高校生が芋の苗植えを行いました。

今年度、閉校を迎える同校は、閉校記念に焼酎を製造。その原料を自らの手で栽培するため、昨年は米麴用の稲作、今回は焼酎づくりで最も重要な原料である芋の植え付けを行いました。

慣れない体勢での作業でしたが、心を込めて一つひとつ丁寧に植え付けを行っていました。生物生産科3年の安田江美香やすだ えみかさんと別府海濤べつふ かいとうさんは「成人を迎えたらみんなでのみたいです」と話しました。